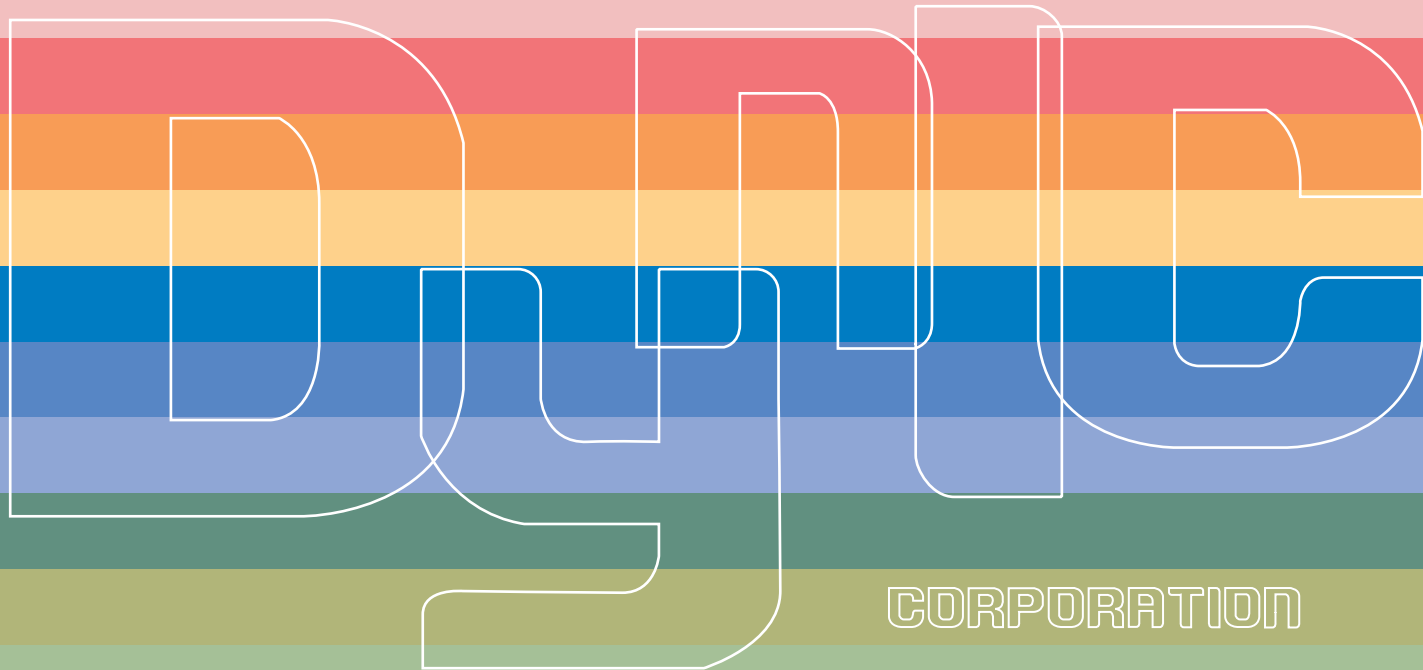


(証券コード 3551)



第149期報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日



技術の優位性 人の和

経営の理念

経営の基本方針

“For The Customer”

会社概要 (平成24年3月31日現在)

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION
本社	〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26 TEL 075-313-2111 FAX 075-313-2116
東京本社	〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 (新御成門ビル) TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146 ホームページ http://www.dynic.co.jp
創立	1919年8月18日
資本金	57億9,565万円
発行済株式総数	42,523千株
社員数	グループ合計 1,493名
営業所/事業所	札幌、仙台、東京、名古屋、京都、大阪、 福岡、香港、台湾、シンガポール、米国、 タイ、英国、中国 (グループ含む)
工場	滋賀、静岡、東京、埼玉、栃木、台湾、 シンガポール、米国、タイ、英国、中国 (グループ含む)
関連会社	国内6社、海外9社
主要商品	<ul style="list-style-type: none"> ●文具紙工品用クロス ●壁装材 ●出版用クロス ●カーペット ●プリンターリボン ●自動車内装用資材 ●銀行通帳用クロス ●各種フィルター ●フィルムコーティング製品 ●不織布 ●磁気関連製品 ●産業用ターポリン ●表示ラベル用素材 ●接着芯地 ●名刺プリンタ ●各種ファンシー商品 ●有機EL用水分除去シート ●食品包材 ●パップ剤用フィルム加工 ●紙管紙器

役員 (平成24年6月26日現在)

取締役会長	細田敏夫
代表取締役社長	大石義夫
取締役副社長	天野高明
専務取締役	湊正晴
常務取締役	卯野明
常務取締役	公文弘
常務取締役	羽田章
取締役	君塚明
取締役	齊藤徹司
取締役	真住慎也
取締役	河野秀昭
常勤監査役	長町洋三
常勤監査役	折坂透
監査役	大場将弘
監査役	綱島勉

(注) 監査役のうち、大場将弘、綱島 勉の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの第149期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

第149期は、原料の高騰や、燃料費の値上がり、円高などの厳しい状況のもと、当社グループでは収益性の改善に努めてまいりました。連結ベースでは前年度比若干の増収となりましたが、結果として期前半の落ち込みが大きく、利益では前年を下回ることとなりました。

配当につきましては、現況および来期以降の事業展開を考慮して、一株当たり5円とさせていただきます。

第150期は第149期以上に苦しい局面に立たされることが予想されます。新商品開発の迅速化、内部統制のレベルアップ、クレームの再発防止に全力を挙げ、顧客満足を高めることに注力してまいります。

さて、第149期定時株主総会終了後開催の取締役会にて、私は代表取締役社長から取締役会長に、取締役副社長の大石義夫は代表取締役社長に就任する運びとなりました。今後も、皆様の一層の信頼をベースに、更なる事業発展をめざしてまいります。

今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月



取締役会長

細田 敏夫



代表取締役社長

大石 義夫

●高円宮妃殿下、 ダイニックアストロパーク天究館 にご来館

平成23年10月1日（土）から2日（日）まで、第23回「星空の街・あおぞらの街」全国大会が滋賀県多賀町で開催され、1日夜に当社滋賀工場内アストロパーク天究館で行なわれた星空観察会に、高円宮妃殿下が環境省水・大気環境局長、滋賀県知事、多賀町長をはじめ9名の方々と共に来館されました。館長が天文台と当社の環境活動についての説明を行ない、観望会を実施しました。今回のご訪問で、当社の地域社会への貢献活動と環境への取り組みを大いにアピールすることができました。



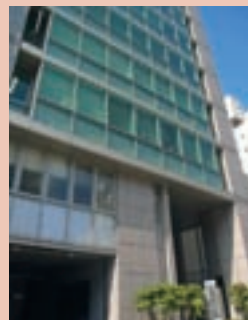
高円宮妃殿下、ご来館



妃殿下に60cm反射望遠鏡の説明をする館長

●ダイニック(株)大阪支社営業所 移転

平成24年4月、ダイニック(株)大阪支社営業所、ダイニック・ジュノ(株)大阪営業所、オフィス・メディア(株)大阪支店は、オフィスの機能強化をねらいとして、大阪市中央区南船場2-5-12クリスタファイブビルに移転しました。受付および応接室には当社製品使用の教科書などの書籍をはじめ、文具紙工品や不織布製自然蒸発式エコタイプ加湿器、有機EL用水分除去シート、各種ターポリンなどの製品見本が展示されております。また、ダイニックフロア受付では環境をテーマにしたプロモーションDVDを映写しております。



クリスタファイブビル



ダイニック受付

●代理店展示会にクロス新製品出展

平成23年10月20日（木）から11月4日（金）まで、当社代理店、（株）竹尾で開催された「TAKEO PAPER SHOW 2011」に共同開発商品の「ヴィンテージゴールド」を出展しました。代理店展示会場をメイン会場に、サテライト会場として20ヶ所以上の書店、ギャラリーでも展開されました。未晒クラフトの片面に金のパウダーを施したヴィンテージゴールドは、使い込まれたような色と質感が特徴のアンティーク風な外観を備えた紙クロスです。また、本展示会にあわせて刊行された書籍の表紙には当社紙クロス「タスファイン」が使用されました。



ヴィンテージゴールド使用の書籍とサンプル



代理店展示会にあわせて刊行された
タスファイン使用の書籍

●(株)ムサシとの共同出展 「page2012」で新製品を出展

平成24年2月8日（水）から10日（金）まで、池袋サンシャイン・コンベンションセンター-TOKYOで行われた「page2012」に名刺ハガキプリンタ新製品「MP-300 Duo」を出展しました。この新機種は従来品と比較して、2倍の長さ（200^{mm}）の用紙が印刷可能になり、二つ折りの会員カードや、席札等のバリアブル印刷にも対応可能となりました。また、印字データの切り替え速度も2倍となり、印刷作業効率アップにも寄与しています。



新製品を含む4機種が展示された「page2012」

■経営の実績 当期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災による混乱から回復の兆しもみられましたが、長引く円高、欧州債務問題に端を発する世界的な景気の後退、タイの洪水災害等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、引き続き収益改善への取り組みを継続してまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は40,325百万円（前年度比1.0%増）となりました。利益面につきましては、営業利益が1,224百万円（前年度比12.6%減）、経常利益が1,144百万円（前年度比7.6%減）となり、当期純利益は544百万円（前年度比11.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

■印刷情報関連事業

印刷被写体としては、主力の紙クロス・布クロスとも低調で前年度比減となりましたが、印字媒体においては、ラベル等の印字用熱転写リボンが国内販売を中心に堅調に推移いたしました。

また、携帯電話等の有機EL用水分除去シートは、期後半には受注回復しましたが、通期で前年度比減となりました。

その結果、当セグメント売上高は17,098百万円（前年度比1.7%減）、営業利益は1,016百万円（前年度比10.5%減）となりました。

■住生活環境関連事業

壁装材は、東日本大震災からの復興需要等により好調な建設関連の受注増加に伴い、堅調に推移いたしました。

自動車内装用不織布およびフィルターは、ともに自動車メーカーの増産により売上を伸ばし、堅調に推移いたしました。

産業用ターポリンは、受注が落ち込んだことにより低調でありましたが、土木用途、鉄道関連が好調に推移し、産業用途全般では前年度比増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は12,203百万円（前年度比3.8%増）、営業利益は453百万円（前年度比18.8%減）となりました。

■包材関連事業

食品包材・蓋材は期前半の海外受注増等により堅調に推移いたしました。また、医療用パップ剤用フィルム加工も堅調に推移いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は6,500百万円（前年度比3.8%増）、営業利益は438百万円（前年度比12.5%増）とな

りました。

■その他

ファンシー商品は、手帳類を中心に堅調に推移いたしました。

商品等運送・保管では、グループ外からの受注を広く獲得し、堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は5,863百万円（前年度比0.1%減）、営業利益は442百万円（前年度比9.5%減）となりました。

■対処すべき課題

次期のわが国経済につきましては、円高や原油価格の値上り、原発停止による電力の供給不足等、引き続き厳しい状況が続くものと思われま

す。このような状況下、徹底したコストの低減など更なる採算性の改善を進め、収益基盤の強化に取り組んでまいります。

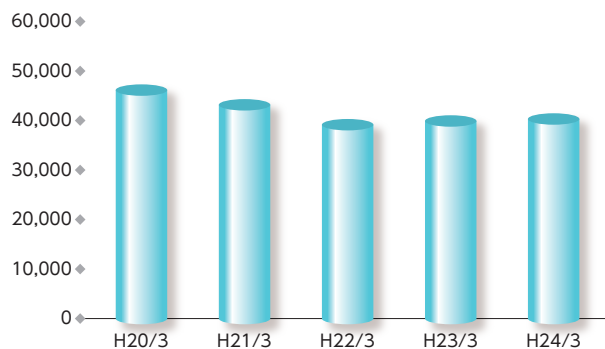
当社グループは、コーティング技術を核とした複合技術の強みを活かし、多岐にわたる加工技術を武器に、お客様の望む特徴ある製品の開発促進を更に強化してまいります。

また、内部統制の整備・運用をより確実なものとし、同時に、リスク管理体制の強化を図るとともに、透明性の高い経営体制の確立を目指し、株主をはじめとするステークホルダーに対する経営責任と説明責任を果たしてまいります。併せて、コーポレートガバナンスの高度化等に積極的に取り組み、企業の社会的責任を果たしてまいります。

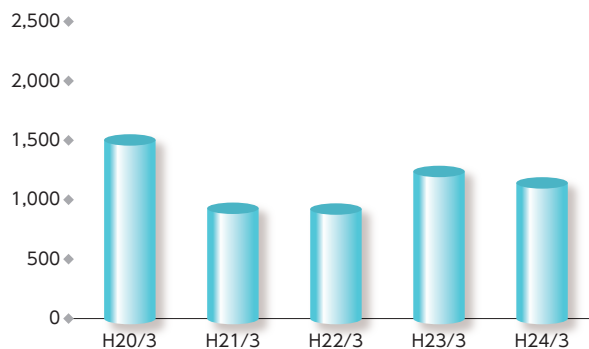
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト (連結)

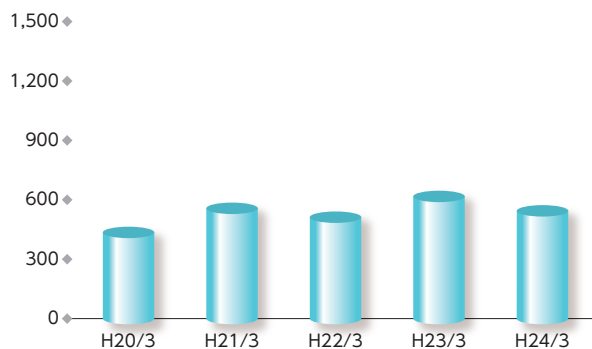
■売上高 (単位：百万円)



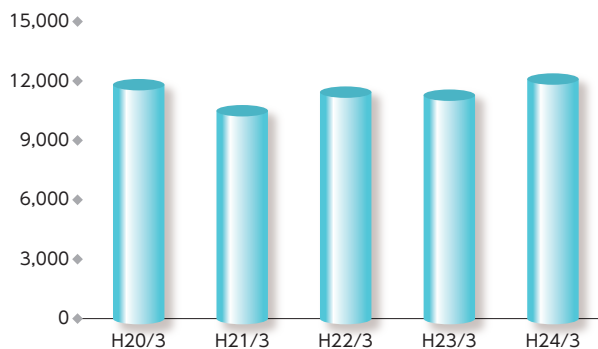
■経常利益 (単位：百万円)



■当期純利益 (単位：百万円)



■純資産 (単位：百万円)



		平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
売上高	(百万円)	46,167	43,223	39,141	39,912	40,325
営業利益	(百万円)	1,813	1,164	1,090	1,400	1,224
経常利益	(百万円)	1,504	930	921	1,238	1,144
当期純利益	(百万円)	436	557	513	617	544
売上高営業利益率	(%)	3.9	2.7	2.8	3.5	3.0
純資産	(百万円)	11,829	10,514	11,421	11,281	12,100

貸借対照表

(単位：百万円)

■資産の部

科目	前期 平成23年3月31日	当期 平成24年3月31日
流動資産	20,063	21,181
現金及び預金	3,094	2,899
受取手形及び売掛金	10,336	11,231
たな卸資産	6,039	6,472
繰延税金資産	320	381
その他の流動資産	344	255
貸倒引当金	△ 70	△ 57
固定資産	23,233	22,969
有形固定資産	16,546	15,609
建物及び構築物	3,310	3,177
機械装置及び運搬具	1,564	1,455
土地	10,863	10,176
その他の有形固定資産	809	801
無形固定資産	35	38
投資その他の資産	6,652	7,322
投資有価証券	4,284	4,490
繰延税金資産	308	142
その他の投資	2,181	2,808
貸倒引当金	△ 121	△ 118
資産合計	43,296	44,150

■負債の部

科目	前期 平成23年3月31日	当期 平成24年3月31日
流動負債	19,086	20,969
支払手形及び買掛金	7,573	9,193
短期借入金	9,686	9,653
未払法人税等	311	115
設備関係支払手形	109	172
その他の流動負債	1,407	1,836
固定負債	12,929	11,081
長期借入金	6,159	4,939
退職給付引当金	4,024	2,524
再評価に係る繰延税金負債	1,717	1,503
その他の固定負債	1,029	2,115
負債合計	32,015	32,050

■純資産の部

科目	前期 平成23年3月31日	当期 平成24年3月31日
株主資本	10,761	11,093
資本金	5,796	5,796
資本剰余金	945	945
利益剰余金	4,048	4,380
自己株式	△ 28	△ 28
その他の包括利益累計額	520	1,007
その他有価証券評価差額金	△ 534	△ 179
土地再評価差額金	2,386	2,600
為替換算調整勘定	△ 1,332	△ 1,414
純資産合計	11,281	12,100
負債・純資産合計	43,296	44,150

損益計算書

(単位：百万円)

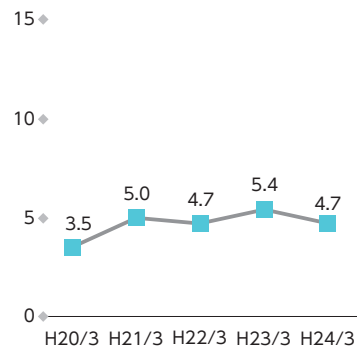
科目	前期	当期
	平成22年4月1日～平成23年3月31日	平成23年4月1日～平成24年3月31日
売上高	39,912	40,325
売上原価	31,706	32,482
売上総利益	8,206	7,843
販売費及び一般管理費	6,806	6,619
営業利益	1,400	1,224
営業外収益	432	410
営業外費用	594	490
経常利益	1,238	1,144
特別利益	44	188
特別損失	275	278
税金等調整前当期純利益	1,007	1,054
法人税、住民税及び事業税	372	280
法人税等調整額	22	230
少数株主損益調整前当期純利益	613	544
少数株主損失	4	—
当期純利益	617	544

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成22年4月1日～平成23年3月31日	平成23年4月1日～平成24年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,936	1,789
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 360	△ 397
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,025	△ 1,506
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 87	△ 22
現金及び現金同等物の増減額	464	△ 136
現金及び現金同等物の期首残高	2,380	2,844
現金及び現金同等物の期末残高	2,844	2,708

自己資本当期純利益率 (単位：%)



株式の状況

会社の株式に関する事項 (平成24年3月31日現在)

発行可能株式総数 150,000,000 株
 発行済株式総数 42,523,735 株 (自己株式126,619株を含む)
 株主数 3,942 名

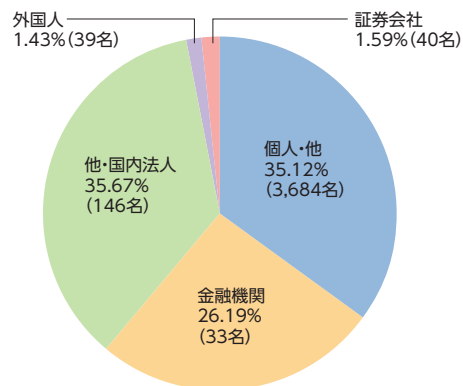
当社の大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ニックグループ持株会	1,624	3.83
株式会社良品計画	1,298	3.06
三井住友海上火災保険株式会社	1,211	2.85
株式会社ヤクルト本社	1,034	2.43
株式会社三井住友銀行	1,000	2.35
みずほ信託銀行株式会社	1,000	2.35
住友不動産株式会社	987	2.32
株式会社滋賀銀行	960	2.26
株式会社武蔵野銀行	960	2.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	928	2.18

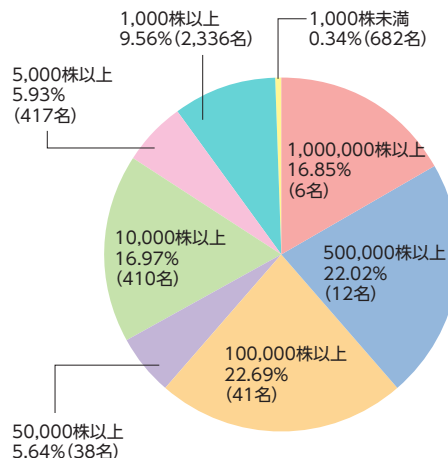
(注) 持株比率は自己株式 (126,619株) を控除して計算しております。

分布状況

所有者別



所有数別



ダイニックグループ (平成24年3月31日現在)

(国内)	(海外)
ダイニック株式会社	台湾科楽史工業股份有限公司
ダイニック・ジュノ株式会社	NC STAFLEX CO.,PTE.,LTD.
大和紙工株式会社	DYNIC (H.K) LTD.
ニックフレート株式会社	DYNIC USA CORP.
ダイニックファクトリーサービス株式会社	THAI STAFLEX CO., LTD.
オフィス・メディア株式会社	DYNIC (U.K) LTD.
大平産業株式会社	大連大尼克辦公設備有限公司
	昆山司達福紡織有限公司
	達妮克國際貿易(上海)有限公司

本社および事業所 (グループ含む)

京都本社	京都市右京区西京極大門町26 〒615-0812 TEL (075) 313-2111
東京本社	東京都港区新橋6-17-19 (新御成門ビル) 〒105-0004 TEL (03) 5402-1811
王子分室	東京都北区浮間5-4-44 〒115-0051 TEL (03) 3966-9333
大阪支社営業所	大阪市中央区南船場2-5-12 (クリスタファイブビル) 〒542-0081 TEL (06) 6262-3010
名古屋支社営業所	名古屋市西区牛島町5-2 (名駅TKビル) 〒451-0046 TEL (052) 563-5800
札幌営業所	札幌市白石区中央三条4-3-47 〒003-0013 TEL (011) 825-1344
仙台営業所	仙台市若林区卸町5-2-3 (喜和ビル) 〒984-0015 TEL (022) 788-2301
福岡営業所	福岡市博多区東光2-20-22 〒812-0008 TEL (092) 451-9232
滋賀工場	滋賀県犬上郡多賀町大字多賀270 〒522-0341 TEL (0749) 48-1717
埼玉工場	埼玉県深谷市内ヶ島500 〒366-0831 TEL (048) 572-3311
王子工場	東京都北区浮間5-4-44 〒115-0051 TEL (03) 3966-0171
富士工場	静岡県富士市宇東川西町1-2 〒417-0854 TEL (0545) 52-3885
真岡工場	栃木県真岡市松山町16 〒321-4346 TEL (0285) 82-4121

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会の基準日		
定時株主総会	3月31日	
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)	
定時株主総会	6月下旬	
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	みずほ信託銀行 証券代行部	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00-17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほインバスターズ証券 本店および全国各支店 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。
上場証券取引所	東京	
証券コード	3551	
公告方法	当社のホームページ (http://www.dynic.co.jp) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	



〒105-0004
東京都港区新橋 6-17-19 (新御成門ビル)
TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146
<http://www.dynic.co.jp>

この報告書の表紙は当社製品「レーヌカバー」を使用しています。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。